

あすならホーム富雄 定期巡回サービス

介護・医療連携推進会議議事録

開催日時	令和6年9月14日（第50回）										
運営推進会議メンバー （本日の参加者）	利用者・家族：1名 市・包括職員：1名 地域代表：5名 職員：9名										
利用者登録状況	安心ケアシステム（定期巡回） 8月利用実績 <table border="1" data-bbox="676 660 1240 855"><thead><tr><th>要介護 1</th><th>要介護 2</th><th>要介護 3</th><th>要介護 4</th><th>要介護 5</th></tr></thead><tbody><tr><td>35名</td><td>23名</td><td>13名</td><td>14名</td><td>5名</td></tr></tbody></table> <p style="text-align: right;">9月10日現在</p>	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	35名	23名	13名	14名	5名
要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5							
35名	23名	13名	14名	5名							
報告事項	<p>【本会議の開催意義についての説明と定期巡回の取り組みについて】</p> <p>ケアラーの会について。介護保険上で定められた会議である。定期巡回は地域密着型サービスに位置づけされている。サービスの内容を地域に開示する目的で実施。地域からも意見をいただいて情報交換をしていきたい。</p> <p>◎事業所の実績報告</p> <p>8月の利用実績</p> <p>安心ケアシステム：90名、看護あり72名</p> <p>デイ：1か月平均18.0名、558回利用、定員20名</p> <p>ショート：定員20名、平均19.0名、588回利用</p> <p>ケアプランセンター：246件、要支援28名</p> <p>事故・苦情：大きい介護事故は無かったが春先に転倒事故が発生、保険対応をした。</p> <p>◎あすならホームからの報告・案内</p> <p>感染症：事業所で一時5名程発生したがそれ以上の拡大は無かった。</p> <p>秋の学習会開催を予定しており、詳細は追ってご案内する。法人全体で開催するもので富雄では同じ内容で3回実施する。10時か</p>										

ら2時間開催する。ご都合つけて参加いただきたい。全体報告・事例報告・リハビリや在宅での生活のための栄養の話などする予定。

安心支援システムはコロナ前は地域の元気な方と食事を作ったり買い物バスを使用したりしていたが再開の目途は立っていない。再開することになればお知らせする。

事例報告（井上）

要介護3・女性の事案、経緯と自宅での様子の説明。1日3回訪問、服薬管理・食事提供・排泄介助からサービスを開始。床を這って移動されていた。

自宅での生活が困難な事と家族のレスパイトを目的にショートステイを利用するようになったが途中で本人の拒否があり中断。自宅での生活のための生活リハビリを実施。当初は拒否があったがリハビリパンツにも慣れてくださったことにより自宅の汚染状況も改善。ご自身も自宅内で歩行できるまで状態が良くなった。ベランダの草むしりができるまでになられた。

家族は当初施設入所を検討されていたが、負担が減ったと言っていたくなるようになった。家族は施設に一刻も早く入れなければと思っておられたがご自身の状態が上がったことで本人が希望していた自宅での暮らしができるようになってきた。

現在は買い物支援も行い、家族が2日に1日塚から来る必要も減った。定期的な往診と看護師の訪問も行って自宅で暮らしていただいている。担当もあすならのケアマネが担当している。

奥村

かなり頑固な方で一人息子と息子嫁の言うこと全く聞かなかった。息子さん夫婦も限界が来て施設にと思っておられたが、本人は頑として家にいるという気持ちが強かった。定期巡回のサービス開始のきっかけは家族の限界が多い。このような症例があるとやりがいを感じるができる。

伊藤

定期巡回事例のケアマネとして。最初に関わりを持った時は状態がとても落ちていた。家族が遠方だが毎日様子を見に来られ、疲

	<p>労困憊だったことから定期巡回を紹介。サービスの担当者と一緒に説明をし、意見をたくさん出してもらった。本人の自宅で過ごしたい気持ちと家族の気持ちは意見が分かれていたが今は家族も安心してサービスに頼っていただいている。本人の気持ちにも寄り添えていると思う。サービスで一丸となって目標を持って寄り添って支えた結果が今だと思う。今では家族は最後まで自宅まで仰っていただいている。家族からも感謝の言葉をたくさん頂戴し、我々の励みにもなっている。</p>
<p>今後の予定</p>	<p>林</p> <p>秋の学習会開催を予定しており、詳細は追ってご案内する。法人全体で開催するもので富雄では同じ内容で3回実施する。10時から2時間開催する。ご都合つけてご参加いただきたい。全体報告・事例報告・リハビリや在宅での生活のための栄養の話などする予定。</p> <p>安心支援システムはコロナ前は地域の元気な方と食事を作ったり買い物バスを使用したりしていたが再開の目途は立っていない。再開することになればお知らせする。</p> <p>門松づくりを毎年ふらっとでしている。今年も12月28日に集まって作る。竹を採るところからやっている。当日の朝はもりもりキッチンでカレーも作る。包括も参加する。困りごとの相談もできる機会になればと思う。今月末に1回目の打ち合わせを実施する。地域全体に発信していく。</p> <p>加藤</p> <p>南天がいつも足りなくなる。寄付いただける方がおられたらご協力いただきたい。竹や松は去年と同じ方をお願いしている。興味がある方はぜひ参加してほしい。今年は松も厳しいらしい。</p>
<p>評価・要望・意見等</p>	<p>◎事例についての意見・感想</p> <p>吉田さん（社協）</p> <p>質問。2月に外出先で転倒して立ち上がりが難しくなったということだが、怪我が回復したのか、それとも他に対応したことが歩行を可能にしたのか伺いたい。</p>

井上

リハビリ的な部分が大きいかと思う。足の褥瘡が改善したことや本人の気持ちもあると思う。本人も外から人が入ることで気の張りが生まれたのではと家族も話していた。身なりも気にされるようになり、自分の事は自分でするんだという気持ちが生まれたように感じる。ショートステイの間の生活リハビリの見直しも影響したのでは。怪我が治ったからというだけではなく、総合的なことが影響したのではと感じている。

山田さん (UR)

94歳の草むしりの写真、インパクトがある。本人の希望も家族の希望も叶っていると感じた。

林

ご病気も持っておられた方。看護的には？

本山

訪問診療の先生にお願いすることになり、2週間に1回訪問診療に来てもらい、そこに家族も来てもらった。薬は居宅療養管理指導で自宅に届けてもらっている。ペットカメラで堺から家族が監視しており、何かあれば家族から事務所に連絡があり、見てきてほしいと言われることもあった。左にできていた褥瘡は毎日訪問看護で訪問して処置を行った。

仲川さん (西包括)

本人の家がいいという気持ちを聞くとこのようなサービスを勧めている。家に帰ったらこのようなプランもあると説明したりする。本人の気持ちや家族の気持ちを聞いてサービスを提案している。

安中さん (利用者)

3月に開催されたケアラーの会にも参加した。この会の内容はあまり知らないが、一生懸命やってると思う。今後も参加できればと思う。

林

メンバーが様変わりしている。コロナがあってしばらくできなかった時期があった。次回3月15日にケアラーの会を行うので参加いただけそうなら次回も是非お願いしたい。

奥村

定期巡回サービスをご利用されているご自宅が富雄団地の方は感覚的には20件程度。一人暮らしの方が中心。全体の定期巡回利用者の3割ぐらいの割合だと思う。

角谷さん（住まいセンター）

現地の状況が分からない部分はあるが、富雄団地は年々高齢化している。自宅に訪問してくれるこのようなサービスの利用が進めばご自宅で亡くなられる方も減るのではと思う。

仲川さん（西包括）

とにかくエアコンをつけない方が多い。どれだけ言ってもつけてもらえないことが多い。団地は外からでは室外機が動いているかどうかも見えないのでわかりにくい。

網戸が付いていない物件もあり、網戸無いから窓が開けられない。団地はつけるとなると届出が必要だが高齢者には手続きが難しいことが多い。もっと早めに対応できればと思うことが多々ある。ゴミの相談もある。話はするが私達にはゴミでも本人にはゴミではなかったりする。団地の高齢化率も増えているので住まいセンターにお願いすることも増えると思う。

山田さん（UR）

団地の高齢化率について、半分ぐらいはご高齢の方。1階は現時点では募集がかかっていない。ここ最近新規の高齢者の方が入ってこない状態で若い人は入ってくださる。毎日1階の募集が出ていないか見るが募集がかからない。空きが出れば募集がでるといってもない。現在住んでいる方については階下移転制度がある。必ず移れるという制度ではなく、必要書類も多いのでハードルが高い。

加藤

3階になると厳しい面がある。あと数年で階段を昇降できなくなるような状態の方も多し。車椅子での昇降になるとマンパワーが必要になる。

仲川さん（西包括）

階下届は募集が無くても届出を出してもいいのか？

山田さん（UR）

申請は出しても良い。

谷城

ショートステイだと1回来てしばらく宿泊されるが、デイは日々行って帰る。受け入れしたくても階段の問題など難しい面があると利用できない要因になる。お風呂の問題もあるので受け入れができればより生活が豊かになる。

井上

以前デイを担当していた時に2階からの階段介助を頻繁に行っていた。階下移転制度は魅力的に感じる。便利に活用できれば良いと思う。

平田

デイサービスを現在利用しているご利用者様で今後の状態を考えると怖い方も数名いらっしゃる。すぐに移るのは難しいがそういう方の申請ができるのであれば施設側も利用者側も楽になることがあると思う。

山田さん（UR）

申請しても数か月かかる可能性もある。時間がかかったからと言って必ず移れるというわけでもない。1階は家賃も上がる。契約も高の原まで行かないといけないので本人一人では難しいかもしれない。申し込んでうまくいくと良いが…

長尾さん（社協）

今住んでいるところが高の原の4階の団地でエレベーターがない。自分でも階段の昇降はしんどさを感じる。高齢者の方だともっと大変だと思う。

加藤

かつて56号棟の上に住んでいた。メゾネットだったが夏場は厳しかったが、おしゃれで良かった。

山本さん（民生）

前日もケアラーの会に参加した。その時は利用者さんの娘さんの話を聞いた。会議に出席することで色々な話を聞くことができ、勉強になる。鳥見町3丁目にも階段が多い家がある。民生委員を受け持って8年目だが、階段から降りてくる様子を見ているのは怖かった。手すりの提案を包括に相談し、設置してもらった。こちらも訪問するのにドキドキした。年々重度になっていく様子を今も見ているが、そのような方が何人かいらっしやる。東地区は階段のご自宅が多い。南地区は割とふらつとなご自宅が多い。民生委員は本来6人いないと行けないエリアだが現在4名しかいない。来年が交代の時期なので民生委員を探さないといけない。70代の方でもお元気だったらやってほしい。

加藤

担当している人をゴミ問題で対応してもらった。ゴミの問題はシビアな事が多い。自治会長の関心の度合いも影響することがある。完全にシャットアウトされることもある。高齢化が進んで介護サービスでは解決しきれない問題もたくさんある。お金を掛ければできることもあるが市のサービスを利用しようとすると時間が早すぎて対応できないこともある。地域を作っていくために協力してもらえるようにしたい。

帝塚山地区は自治会長が会議を開いてくれて理解をしてくれた。条件を定めて融通を聞いてもらえ、うまくいったケースになった。理解を得られればありがたい。

	<p>山田さん (UR)</p> <p>団地のゴミは何時でもカギは空いている。いつでもゴミを置けるが臭いの問題もあるので収集日を意識して出してもらっている。ダストシュートを活用して生ゴミを出してもらっている。</p> <p>田中さん</p> <p>定期的に社協の会長とお宅訪問して話をきいたり 庭のお生い茂った草をかったりしている ゴミ問題は社協や自治会長と連携して対応している</p>
<p>その他必要な事項</p>	<p>林</p> <p>地域で話ができる機会があれば参加していきたいと思っている。10月にも見守りの話し合いがあるので開示できる情報を開示しながら参加したい。ケアラーの会も通じて地域と連携を図っていきたいので今後ともご協力をお願いしたい。</p>

次回開催予定： 3月15日（場所：あすならホーム富雄 1F サロン）